



いわて生協

2017年8月号

# 復興支援活動ニュース

2017年7月25日発行

いわて生協 組合員活動チーム

電話：019-603-8299

FAX：019-687-1117

東北も猛暑日が多くなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。

今回は岩泉での支援活動の様子なども紹介しています。

## 復興支援活動



### ★★★ バスボランティア ★★★

7月9日(日)に大槌町の菜の花プロジェクトでの活動。今回は関東地方の生協職員含めて37名が参加。梅雨時期らしくない、快晴の河川敷で草刈りや菜の花の手入れをしました！次回のバスボランティアは、8月20日(日)陸前高田市での活動です。みなさんの参加をお待ちしております！



### ★★★ 台風10号支援活動報告 ★★★

岩泉こへふ委員会が、小本防災センターでハンドトリートメントとお茶会を開催。「ハンドトリートメントって？」最初は聞き慣れないせいか緊張気味でしたが、アロマオイルで手の指先から肘までマッサージしてリラックスした後は笑顔が見られました。「シワだらけで筋肉も無くなった腕をみせるのが恥ずかしい」と言いながら「気持ち良い」「またやりたい」「何処から来たの？」と会話が弾みました。支援で頂いたお菓子やコープのちょっとリッチな緑の箱クオリティ商品での至福のお茶会でほっと一息。

和んでもらえたらと前日に娘と作った折紙の菓子皿、シュガーポット、白鳥のコーヒーフレッシュ入れに興味深々、作ってみたいとの声がありました。



## 「記憶を手繰り寄せながら…次に進もう！」

岩手郡コープ 理事 大川原芳子

6年前の記憶がだんだん薄れていく中、毎月11日は記憶を手繰り寄せ、あの日を思い出すようにしています。内陸で生活している私は近くに海を見ることもない、造成地を往来しているトラックの姿も見ない、震災前と後では周りの風景に変わりが無いから…(普段は忘れている)。

震災後、滝沢市周辺に避難してきた方々に集える場所を提供しようと、ベルフ牧野林の組合員ルームで傾聴ボランティアや社会福祉協議会の協力を得て、「お茶っこ会」が始まりました。当初はお互い緊張し、口数も少なく、BGMで流す音楽と漂うコーヒーの香りだけが雰囲気を和らげてくれていました。

何か作品を作って楽しむ…夢中になれる、そんな時間を重ねていくうちに、会話とおしゃべりがみなさんを元気にしてくれたのか、BGMなんていらない、というかあっても聞こえない。笑いとお話の声に消されて、和やかな空気変わってきました。4年が過ぎ、被災者が集う「お茶っこ会」から地域の「ふれあいサロン」に移行できないかとの意見がありました。その時は「NO!」「自分たちだけがいい」と…が、何と今年3月、6年を過ぎていろんな人たちと月に1回のこの時間を楽しく過ごそうということになり、4月から「ふれあいサロン」として再出発することができました。参加された方が自分たちで役割分担し、少し私達が手伝いスタート。辛くて忘れられない体験と記憶を乗り越え、一歩ずつ前に進む方々の心に寄り添いながら内陸に住んでいても忘れない、できることで支えになれる自分でいられたら…と思っています。



## ふれあいサロン



## 今月のサロンの様子と ボランティアの声

<陸前高田市 二日市仮設住宅>



メガネケースを作りました♪

<大船渡市 川原アパート>



小さな小物入れ！何をいれようかな？

<宮古市 コープ西ヶ丘>



みんなで飾りに願いを込めて、七夕さま

<陸前高田市 中田復興公営住宅>



手をチクチク動かしながら、  
ペチャクチャおしゃべり！

サロンに参加している皆さん、「サロンで大きな声を出して笑ったり、おしゃべりしながら何かを作ったり、とても楽しみです」とのこと。復興がすすんでいる中、まだまだサロンが必要なのかなと思いました。

(大槌町 小鏈第 14 仮設住宅)

今日は昔から参加してくれた 3 名が参加してくれて嬉しかった。縫い物をし、少々体を動かすために自分で肩たたきをした後に座ったまま円になり「どんぐりころころ」の曲に合わせて前後の人の肩をたたく遊びをした。

(宮古市 グリーンピアサポートセンター)

## 食の支援

ふれあいサロンの大槌第 10 仮設では、「炊飯器でオニオンブレッド」と「えのきとわかめの味噌汁」を作って食べました。参加者からは「とても簡単にできるので、さっそく作ってみます！」という声が聞かれました。

### 【生協料理サロン】

・ 7/11 実田県営住宅 参加 2 名+スタッフ 2 名

### 今回のメニュー(3行レシピから)

- ① 小えびとしらすの飾りご飯
- ② ひじきとハムの粒マヨ和え
- ③ なすと厚揚げのマーボー風炒め

食事中や片付けをしながらの

会話が弾みました。





## キット作り

※今月はたくさんの方々がキットを作成してくださいました。ありがとうございます。  
新しいレシピも先月に引き続き大募集です。 8月の新しいレシピは、「ふうりん」です。

### ●●● キットの在庫情報 ●●●

- ・ 布バッグ
- ・ ティッシュボックスカバー
- ・ ハギレとフェルトの小さい小物入れ (大・小)
- ・ 鍋しき
- ・ ティッシュ BOX カバー
- ・ メガネケース など

※詳しくは事務局までお問い合わせください

キットを作っていたら、早目の返却をお願いします  
(使うサロンの日程が迫っている場合もあるため、出来たところまででも大丈夫です) よろしく願いいたします。



### ●●● キット作りありがとう ●●●

- ・ ネクタイほどこ (いのへこぼろ)
- ・ お薬手帳 (一関ふれあいサロン応援隊)
- ・ 牛乳パックのトレイ (ちょボラ花巻)
- ・ ペンケース (水沢ぺこぼら)
- ・ くるみボタン作り (釜石こぼろ)
- ・ かわいい小さな財布 (釜石小川こぼろ委員会)
- ・ 携帯裁縫道具入れ (釜石大畑こぼろ委員会)
- ・ ネクタイポシェット (釜石平田こぼろ委員会)
- ・ ネクタイネックレス (久慈こぼろ)
- ・ 鍋しき (大槌ちょボラ、北上上野町こぼろ委員会、北上たけのこぼろ委員会)
- ・ ウォレット (宮古ドラキット作り)
- ・ ハギレとフェルトの小さい小物入れ (けせんちょボラ)
- ・ 布バッグ (本部経理チーム)
- ・ ティッシュ BOX カバー (釜石ちょボラ、北上うさぎこぼろ委員会)
- ・ 風鈴 (宮古ドラキット作り)

## 支援を ありがとう



### お菓子・ジュースのご支援

- ・「コープいしかわ」さん
- ・「生協しまね」さん
- ・「ユーコープしずおか」さん
- ・「京都生協」さん
- ・「福井県民生協」さん
- ・「こうち生協」さん
- ・「コープみらい」さん
- ・個人の方

### 支援ボランティアさんの感想

(医療生協さいたまさん)

今回サロンに参加させていただいて二人の方からお話を聞くことができました。一人の方は旦那さんが元々漁師で近いうちに海沿いに家を建てるようです。もう一人の方からは震災直後の詳しいお話を聞かせていただき、ポツポツと涙を流されていました。その方はもう海沿いには戻りたくないと話していました。お二人は元々住んでいた地域は別々でこのサロンで知り合われたそうです。そこから他の住民の方とも繋がりができ、世間話や震災の話などをするそうです。このような形の地域コミュニティや寄り合いの場の大切さを感じました。

### 現地でのご支援

- ・6/23(金) 大槌 「医療生協さいたま」さん
- ・7/12(水) 大槌 「おおさかパルコープ」さん

猛暑日が続いています。熱中症にならないように注意しましょう！

- ・室内を涼しく・塩分をほどよく摂取・水分はこまめにとろう
- ・帽子や日傘で日差しをカット

食の支援では、食材の管理や手洗いなどで食中毒に気を付けましょう！

また、サロン活動中や食の支援中に体調不良の方がいましたら、支援員さんや社協の方と一緒に対応しましょう。サロン事務局 (019-603-8299) にもすぐに連絡をお願いします。

